



01 ご挨拶



業績の早期回復を図るとともに、新中期経営計画を着実に遂行することで収益基盤の強化を図ります。

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社事業へのご理解と格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2016年3月期の業績は、事業環境の厳しさと成長投資の実行により、誠に遺憾ながら前期比で大幅な減収、そしてグループとして初の経常損失を計上する結果となりました。株主の皆さまのご期待にお応えすることができなかったことを真摯に受け止め、深くお詫び申し上げます。今期（2017年3月期）からは新4ヵ年中期経営計画を始動し、将来に向けた事業基盤の強化を進めてまいります。

詳細につきましては、本冊子に掲載するインタビューに述べさせていただきましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

代表取締役社長 栢森 秀行

ダイコク電機が展開する情報

情報が生み出す付加価値をパチンコホール・遊技機メーカー・パチンコファンパチンコ業界を変革してきたダイコク電機。ここにそのビジネスモデルを解

はじめに、ダイコク電機の事業領域について

情報システム事業

当期の売上比率

72.4%

パチンコホール向けコンピュータシステムや景品顧客管理システム、情報公開機器など、ホール運営を支援するさまざまな機器・サービスを開発、提供します。

パチンコファンにとって、より快適で楽しめるホール環境を創り出すとともに、パチンコホールにおける経営効率の向上を実現し、市場の拡大に寄与します。

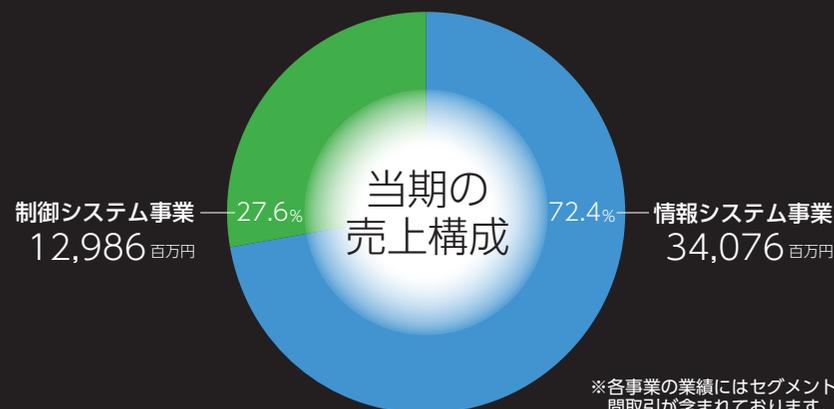
制御システム事業

当期の売上比率

27.6%

パチンコ・パチスロ遊技機メーカーに対し、遊技機の表示ユニットや制御ユニットのハードウェア及びソフトウェアを開発、提供します。

遊技機メーカーのパートナーとして、製品企画から版権提案、データに基づいたスペック提案、セールスプロモーション、稼働支援まで、幅広くサポートします。



※各事業の業績にはセグメント間取引が含まれております。

流通戦略とは？

の3者にもたらし、
説します。



情報流通 1 パチンコホールを**変革**する

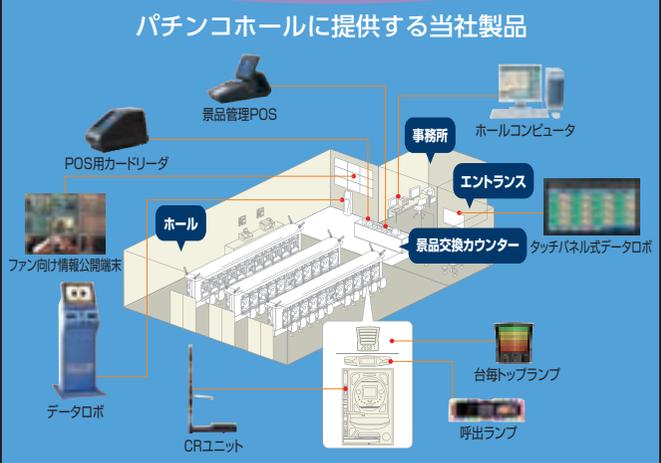
パチンコファンの声を活かした「情報流通」が、ホールに変革をもたらしました。遊技の楽しさを倍増させ、ホールとファンとのコミュニケーションを実現する情報公開機器。そして、ファンの動向を捉えるコンピュータシステムと情報提供サービス。これらは、今やホール運営に不可欠な存在となっています。

情報流通 2 遊技機メーカーを**変革**する

急速な技術革新の中でしのぎを削るパチンコ・パチスロ遊技機メーカー。時代のニーズにいち早く対応する「情報流通」が、表示ユニット・制御ユニット開発のカギを握ります。最新技術の導入によるコンテンツ制作等の先進性に加え、ファン動向のデータを活用した提案は、ダイコク電機の最も得意とするものです。

情報流通 3 パチンコファンを**変革**する

パチンコファンに対しては、ホールの情報公開機器で提供するコンテンツ以外にも、PC・モバイルサイトを通じて発信する加盟ホールの出玉情報や各種遊技機情報など、楽しさを伝えることでファンの行動を巻き込む「情報流通」を展開。ファンを変革する仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。



ホールコンピュータを中心とする運営支援システムと、さまざまなファン向け情報公開機器が連動し、双方向コミュニケーションの拡充とともにホールを活性化します。

解説 ホールコンピューティングシステム[CII]

パチンコホールの状況だけでなく、ネットワークを通じてファンの動向や遊技台の性能をリアルタイムに把握。ファンの声に基づいた集客戦略を実現します。

会員制情報提供サービス [DK-SIS]

当社と会員パチンコホールとの間に情報ネットワークを構築。業界随一の規模で、日々変化する遊技機動向や営業データなど、付加価値の高い情報を提供します。

P9 「DK-SIS」については **を** あわせてご参照ください。

[MIRAI GATE] ネットワーク

システム・サービス・スタッフの3つの力を融合した価値提供サービス。ホールの営業戦略や、集客戦略、運用・管理などをトータルに支援します。

03 社長インタビュー

Q 当期(2016年3月期)の営業状況を振り返って

A 当期の連結業績は、情報システム事業において歴代3位の売上と健闘したものの、次世代製品への開発投資の増加によるコスト増や、制御システム事業ではパチンコ・パチスロ遊技機の複数機種での開発・販売スケジュールの変更により苦戦し、グループ全体として減収減益、経常損失を計上する結果となりました。

情報システム事業は、上半期は比較的好調に推移したものの、下半期はパチンコ・パチスロ遊技機の自主規制の追加等の影響もあり、既存店舗での設備投資意欲が顕著に減少しました。このような環境のなか、CRユニット[VEGASIA]や情報公開機器[BIGMO PREMIUM]の拡販に努め、善戦したものの昨年度の販売実績には及ばず、また次世代製品開発が佳境を迎えたことにより研究開発費が大幅に増加したことで減収減益となりました。

一方、制御システム事業は、取引先パチンコ遊技機メーカーにおいて、予定されていた機種の発売延期や販売台数の減少により低調に推移しました。そうした状況のなか、当事業では映像制作工程の抜本的見直しや人材補強など、不透明な業界環境下においても柔軟

厳しい業界環境の中で、新たに4ヵ年中期経営計画をスタートさせたダイコク電機。その取組みと今後の展開について、代表取締役社長 栢森 秀行にインタビューしました。

に対応できる体制作りを取組みました。また、パチスロ事業において、昨年10月に市場投入した「パチスロ百花繚乱サムライガールズ」は約5,100台を販売し、その高い稼動貢献がホールの好評を得るなど成果を上げましたが、その他発売を計画していた3機種につきましては自主規制の影響による仕様変更等により2017年3月期以降に販売がずれ込みました。

2016年4月上旬、そのうちの1機種である「探偵歌劇 ミルキィホームズTD 消えた7と奇跡の歌」を発売し、当社過去最高となる約8,800台を販売することができました。他2機種につきましても早期にリリースすべく、全力で取組んでまいります。

新中期経営計画をベースに 収益力・成長力の向上を目指す

Q 始動した4ヵ年中期経営計画について

A 当社は今期(2017年3月期)から、4ヵ年中期経営計画「Next50 第一章」を始動しました。その基本方針、事業部門別の基本戦略及び施策は、以下のとおりです。

中期経営計画の基本方針

- ①現在進行しているパチンコ・パチスロ遊技機の自主規制の実施に適時に対応していくとともに、厳しい経営環境が当分の間続く可能性を視野に入れた取組みを進めてまいります。
- ②今回の自主規制の実施を契機として、パチンコ・パチスロ市場は中期的に変化していく可能性が高いと予想されます。当社グループは市場との対話を通じ、変化へ対応してまいります。
- ③パチンコ業界で最高水準のサービス・商品の提供に努め、中期的に市場シェアの向上と収益構造の変化を図り、収益力・成長力の向上を目指してまいります。
- ④ROEを意識した経営を推進してまいります。

事業部門別の基本戦略及び施策

●情報システム事業部門

(1)ホールコンピュータシェアNO.1の堅持

- ①次世代コンピュータの投入により、パチンコホール経営企業へ最高水準のシステム・サービスを提供してまいります。
- ②ビッグデータを活用した新たな分析手法を確立し、新たな価値を創造してまいります。

新中期経営計画「Next50 第一章」をスタート。 次世代システムをベースとした成長へ。

③ホールコンピュータ及び遊技機管理台数のトップシェアを活かした設備機器の入替などの各種施策を行ってまいります。

(2)パチンコファン向けサービスの進化

ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の活用や上記にあるような新サービスの投入により、パチンコファン(ユーザー数)の拡大を推進してまいります。

●制御システム事業部門

(1)新たな遊びの価値を創出し、パチンコ業界の活性化に貢献してまいります。

(2)遊技機市場の変化を敏感に察知し、利益につながる企画開発を実行してまいります。

定量的な目標 (連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 見込	2020年3月期 目標
売上高	47,004	50,000	57,000
営業利益	△894	1,000	4,000
ROE	△5.5%	2.1%	7%以上

投資計画 (連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 見込	2018年3月期~ 2020年3月期
研究開発投資	5,331	4,400	10,000(累計)
設備投資	1,104	1,400	4,000(累計)
減価償却費	1,360	1,700	5,000(累計)

Q 株主の皆さまへのメッセージとして

A 当社は、株主の皆さまへの利益還元について、安定配当をベースとしつつ、業績に連動した形で実施させていただくことを基本方針としています。同時に、成長投資のための内部留保についても勘案し、当期の期末配当は1株当たり40円(前期比20円減)とさせていただきました。これにより、中間配当と合わせた年間配当額は、同50円(同20円減)となりました。今期の利益還元は中間配当10円、期末配当40円とさせていただく予定です。

また、前期より導入いたしました株主優待制度につきましては、多数の株主さまより貴重なご意見や改善へのご要望をいただきましてありがとうございます。今後も株主の皆さまに満足いただける、より魅力的な制度としていきたいと考えておりますのでご期待ください。

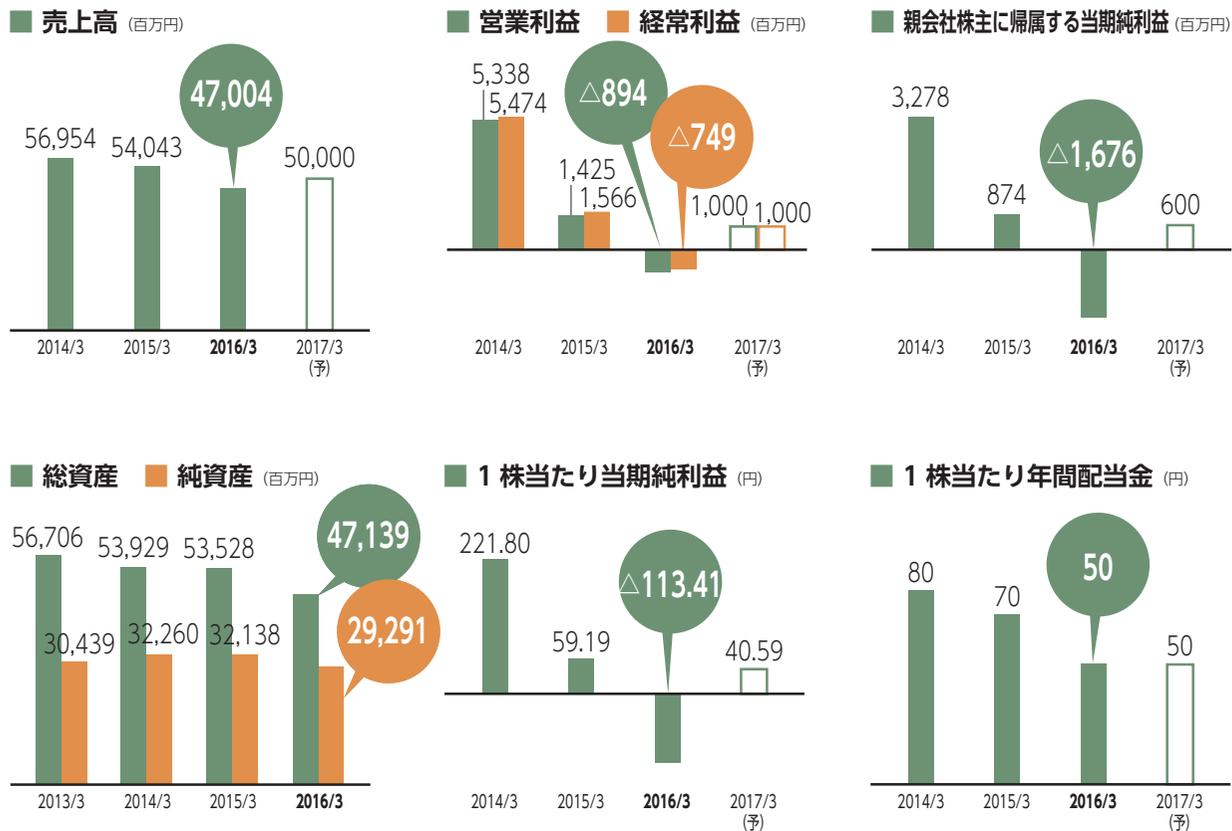
株主の皆さまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 栢森 秀行



情報システム事業は底堅く推移するも 制御システム事業は苦戦が続く

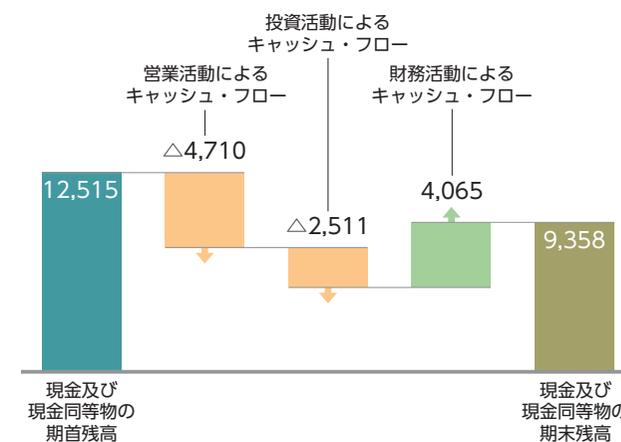
主要経営指標等の推移



資産の状況 (百万円)



キャッシュ・フローの状況 (百万円)



当期のポイント

- ① 情報システム事業において、第3四半期以降の既存店舗での設備投資意欲が顕著に減少したことで失速
- ② 制御システム事業において、パチンコ・パチスロ遊技機の複数機種で開発・販売スケジュールが変更となったこと等により減収減益

セグメント別の状況

当期の営業概況

対処すべき課題と次期の見通し

情報システム事業



売上高 **34,076** 百万円
セグメント利益 **2,277** 百万円



自主規制の追加等の影響で、既存店舗での投資意欲の減少が顕著に表れ、ホールコンピュータの入替需要が伸び悩み、当事業の最高売上高を記録した前年同期には及びませんでした。また、費用面におきましては、次世代製品開発への積極投資の実施により、研究開発費が大幅に増加いたしました。この結果、当事業の売上高は340億76百万円(前期比8.2%減)、セグメント利益22億77百万円(同46.4%減)となりました。

売上高 **31,000** 百万円
セグメント利益 **2,300** 百万円

引き続きCRユニット「VEGASIA」の販売促進を行うとともに、市場評価の高い「BiGMO PREMIUM」の継続した販売活動及び、当連結会計年度末よりテスト導入にて注目度の高い、新型情報公開端末「REVOLA」の販売により、売上高310億円(前期比9.0%減)を見込んでおります。また、次世代製品開発に関しましては、積極投資を継続し、早期リリースを目指してまいります。

制御システム事業



売上高 **12,986** 百万円
セグメント利益 **△1,319** 百万円



主力商品である表示ユニットは前年同期を下回りましたが、制御ユニットと周辺部品におきましては、生産効率の向上並びに多機種に採用されたことにより、前年同期を上回る結果となりました。また、パチスロ遊技機では3機種の発売が延期となり、調達済みのたな卸資産の評価替えを行いました。この結果、当事業の売上高は129億86百万円(前期比23.4%減)、セグメント損失13億19百万円(前期セグメント損失11億5百万円)となりました。

売上高 **19,000** 百万円
セグメント利益 **600** 百万円

遊技機における各基準の変更を受け、適合基準が次第に浸透することにより、型式試験の結果書交付までの時間が通常に戻ることが予想され、販売機種数も増加に転じることが考えられるため、市場環境に適した「タイムリーな企画提案」に注力し、市場シェアアップに取り組んでまいります。また、2016年3月期からずれ込んだパチスロ遊技機3機種の販売を計画しております。

07 トピックス

新製品の発表、展示会やセミナーの開催など ダイコク電機の「今」をお伝えします。

新製品 情報公開端末 [REVOLA]

ダイコク電機ブランド「MIRAIGATE」が提供する情報公開端末は、多くのホール様・ファンに支持されてきました。2016年、Revolutionランプ「REVOLA」が類を見ない新たな革命を巻き起こします。



セールスポイント!



Fan First 業界最大級 巨大デカセグ

ファンが一番見たいデータをセグで大きくシンプルに表示。島端の通路からも見やすくファンを魅了します!! 大きくわかりやすい光る呼出ボタンもファンの使いやすさを徹底追求しました。



Beauty 業界最大級 10.1インチ美麗ワイド液晶パネル

プレイ中の見やすさにこだわった広視野角液晶パネルは見る角度を選びません。ファンが見たいデータを1画面に表示可能。ホールからの画像広告も鮮明にアピールできます。



Fusion 遊技台との融合

クオリティの高いコンテンツが遊技台のイメージにあった画像と音で華やかに演出します! 遊技台との一体感がホール空間をワンランク上のステージへ導きます。



Stylish & Revolutionary

巨大デカセグ、美麗液晶、遊技台との融合、スタイリッシュなデザインが今までにない上質な遊技空間を創造します。

NOW DAXEL株式会社製パチスロ遊技機

DAXEL株式会社より「探偵歌劇 ミルキィホームズTD 消えた7と 奇跡の歌」を2016年4月に発売しました。



本機は、トレーディングカードゲーム、アニメ、スマートフォンアプリなど幅広いメディアミックスコンテンツを手がける「株式会社ブシロード」と、他メーカーとは一線を画す独自の『ANIME×SLOT』システムを生み出す「DAXEL」との共同開発機となります。

通常時からアニメが観られるまったく新しいシステムにパチスロ業界ではまだ広がりを見せていないRTC機能を搭載して毎週アニメのストーリーや楽曲を追加していくなど、よりコンテンツを楽しめるゲーム性となるアニスロの集大成です。

セールスポイント!

アニメ式周期抽選
トリプル ZONE
システム搭載!

オープニング



シナリオ ZONE



バトル ZONE



●TVアニメ同様、オープニング
→本編の流れで周期抽選を行う
ため、よりアニメを楽しめる

©ミルキィTD製作委員会
©劇場版ミルキィホームズ製作委員会
©bushroad/Project MILKY HOLMES
©ふたりはミルキィホームズ製作委員会
©DAXEL
ねんどろいど協力/GOOD SMILE COMPANY

人気アニメ作品との本格コラボレーション 「探偵歌劇ミルキィホームズTD」開発レポート



シリーズ
ダイコクストーリー

「ものづくり探訪録 5」

08

**パチンコ業界に新たな価値を提供し続けるダイコク電機。
その「ものづくり」にまつわる物語をシリーズでお届けします。
第5回目は、パチスロ遊技機の新機軸「探偵歌劇ミルキィホームズTD」を採り上げます。**

語り手

ダイコク電機株式会社 DK-SIS室 遊技機企画係
係長 常任講師

片瀬 宏之 (かたせ ひろゆき)



©ミルキィTD製作委員会 ©劇場版ミルキィホームズ製作委員会 ©bushiroad/Project MILKY HOLMES
©ぶたりはミルキィホームズ製作委員会 ©DAXEL ねんどろいど協力/GOOD SMILE COMPANY

■ アニメファンをホールに呼び込む遊技機を目指して

当社は、人気アニメ作品とパチスロを融合する「アニスロ」をコンセプトに、DAXELブランドのパチスロ遊技機を開発しています。その第4弾として2016年4月に発売した「探偵歌劇ミルキィホームズTD 消えた7と奇跡の歌(以下 ミルキィホームズ)」は、これまでにないエンタテインメント性を備えた「アニスロ」の決定版と呼べる機種に仕上がりました。

株式会社ブシロードとの共同開発として本機に導入した「ミルキィホームズ」は、2010年以来4期にわたるTV放映や劇場版上映を通じて高い人気を誇るアニメ作品であり、同社を代表するコンテンツの一つです。

私たちは、パチスロファンの満足度を高めるとともに、アニメファンをホールに呼び込む魅力を持った遊技機を実現すべく、「ミルキィホームズ」の世界観をそのまま反映することにこだわり、プレイ中だけでなく通常時からアニメが見られる新システムを開発。コンテンツを前面に押し出し、その完成度を徹底追求しました。

■ 規制強化を乗り越えるべく2機種を同時並行開発

本機は、開発の初期段階からブシロードの全面協力を得て、オリジナルストーリーや楽曲の制作、人気声優の起用など、本編アニメと同じスタッフによるコンテンツづくりを行い、物語とキャラクターの魅力をフルに活かした演出効果を生み出すことに成功しました。またスペック面では、ノーマルタイプより低いコイン単価を実現しつつ、出玉の満足感を適度に実感できる仕様に仕上げました。

申請に至るまでの開発期間は、2014年6月の企画完成から1年6カ月と一般的なパチスロ開発より、非常に短期間での完成を突

現しました。短期間開発を目指すなか、警察庁によるパチスロ規制強化の意向を踏まえ、型式試験の方法が変更されるとともに、仕様に関する自主規制が次々と実施されました。時間との闘いの中で、たび重なる仕様変更を迅速に行い、また不適合リスクの回避策として初めての試みでしたがAT機とART機の同時並行開発も行いました。その結果ART機のみが適合となり、この施策がなければ「ミルキィホームズ」が世に出ることはしづらくなかったと思います。

発売後は、特に原作アニメのファンから遊技機で楽しめる「ミルキィホームズ」に対し、好評と称賛の声が多く寄せられています。当社は「アニスロ」のさらなる展開を図るべく、引き続き有力コンテンツの著作権元との本格的コラボレーションを進めてまいります。

「探偵歌劇ミルキィホームズTD」の発売まで

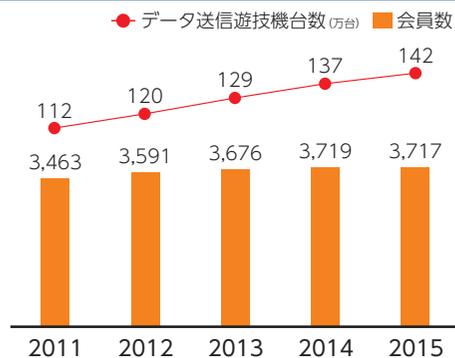


「DK-sis 白書 2015」DIGEST

「DK-SIS白書」は、ダイコク電機の会員制情報提供サービス「DK-SIS」を通じて、会員ホールからお送りいただいた情報を収集・分析し、パチンコ業界の現状と今後の動向予測をまとめたレポートです。

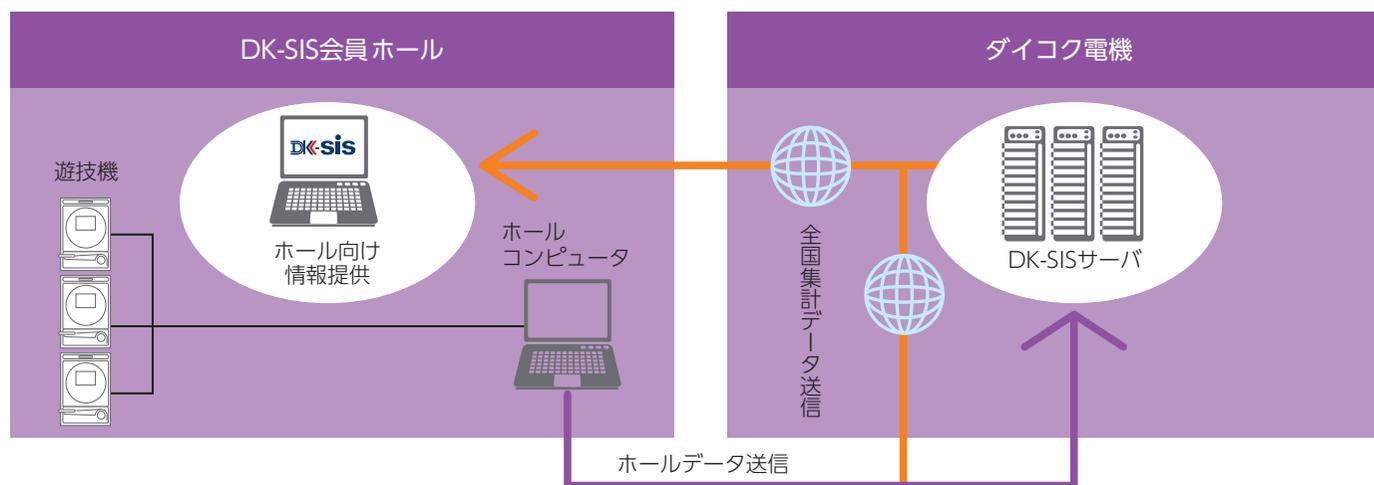
ここでは、株主の皆さまに業界と市場へのご理解をより深めていただくために、その内容の一部をご紹介します。

会員数・データ送信遊技機台数 推移グラフ



用語説明

稼動時間	遊技機1台が1日に稼動した時間
売上	1日・1台当たりの貸玉(コイン)金額
粗利	1日・1台当たりの粗利金額
低貸玉営業	貸玉料を下げた営業形態



DK-SIS 会員数	データ送信遊技機台数	設置シェア	データ規模(年間売上)
3,717 会員	142 万台	31.0%	10.2 兆円

遊技機メーカー向け情報提供

証券・金融機関向け情報提供

業界内外に対するシンクタンク機能

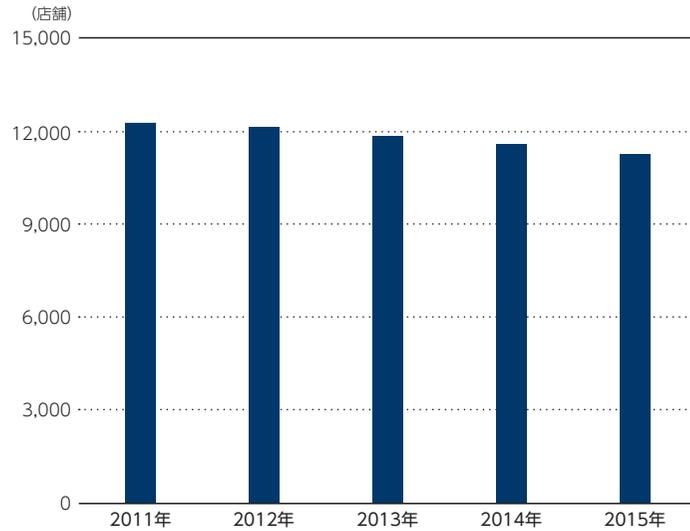
DK-sis とは？

「DK-SIS」は、1990年(平成2年)に店舗経営を支援する会員制システムとして誕生しました。パチンコホールの基幹システムであるホールコンピュータとダイコク電機とを専用回線で結び、日々の営業データを収集し、分析、加工後、パチンコホールに付加価値の高い各種データを提供する顧客支援システムです。



店舗数の緩やかな減少傾向に歯止めがかからず、 全体の遊技機設置台数も引き続き減少

店舗数の推移



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	対前年比
パチンコホール数	12,323	12,149	11,893	11,627	11,310	△2.7%
うちパチスロ専門店	931	971	1,020	1,017	991	△2.6%

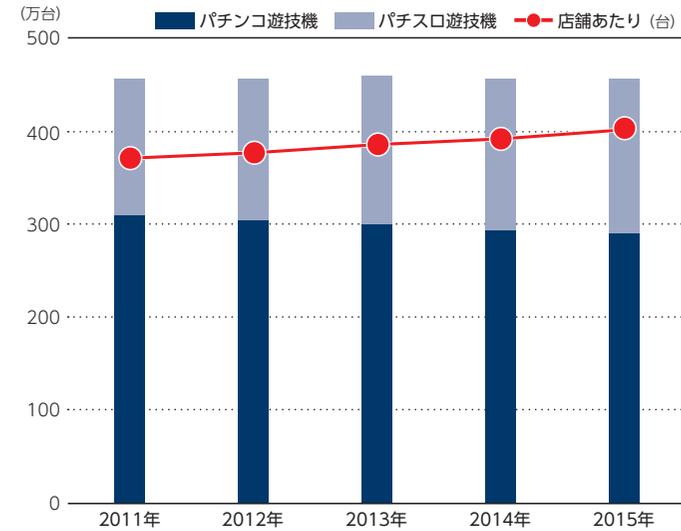
資料の出处：「平成 27 年中における風俗関係事犯の取締状況等について」

2015年の店舗数は11,310店舗となり、緩やかな減少傾向が20年にわたって続いています。パチスロ専門店が近年少しずつ増加を続けていましたが、2014年から減少し、2015年も引き続き減少となりました。

■ 設置台数別店舗数推移

	2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		対前年比
	店舗数	%									
100台以下	370	3.0%	340	2.8%	318	2.7%	293	2.5%	262	2.3%	△10.6%
101～300	5,066	41.1%	4,853	39.9%	4,588	38.6%	4,355	37.4%	4,154	36.7%	△4.6%
301～500	4,499	36.5%	4,411	36.3%	4,365	36.7%	4,218	36.3%	4,082	36.1%	△3.2%
501～1,000	2,218	18.0%	2,355	19.4%	2,400	20.2%	2,518	21.7%	2,534	22.4%	0.6%
1,001台以上	170	1.4%	190	1.6%	222	1.9%	243	2.1%	278	2.5%	14.4%
合計	12,323	100.0%	12,149	100.0%	11,893	100.0%	11,627	100.0%	11,310	100.0%	△2.7%

遊技機設置台数の推移



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	対前年比
遊技機設置台数 (万台)	458	459	461	460	458	△0.4%
パチンコ遊技機 (万台)	311	304	301	295	292	△1.2%
パチスロ遊技機 (万台)	147	155	160	164	166	1.1%
店舗あたり (台)	372	378	387	395	405	2.4%

資料の出处：「平成 27 年中における風俗関係事犯の取締状況等について」

2014年に減少に転じた遊技機設置台数は2015年も微減となりました。パチンコ遊技機・パチスロ遊技機別では、パチンコ遊技機の設置台数が減少を続けている一方で、パチスロ遊技機の設置台数は増加が続いています。

2015年の設置台数別店舗数を2014年と比較すると、設置台数500台以下の中・小規模店舗は減少する一方で、501台以上の比較的大規模な店舗は増加しました。また平均設置台数は、全体の店舗数が減少する中においても増加の一途をたどっており、遂に400台を超えるに至りました。店舗の大型化が引き続き進んでいることが明確に見てとれます。

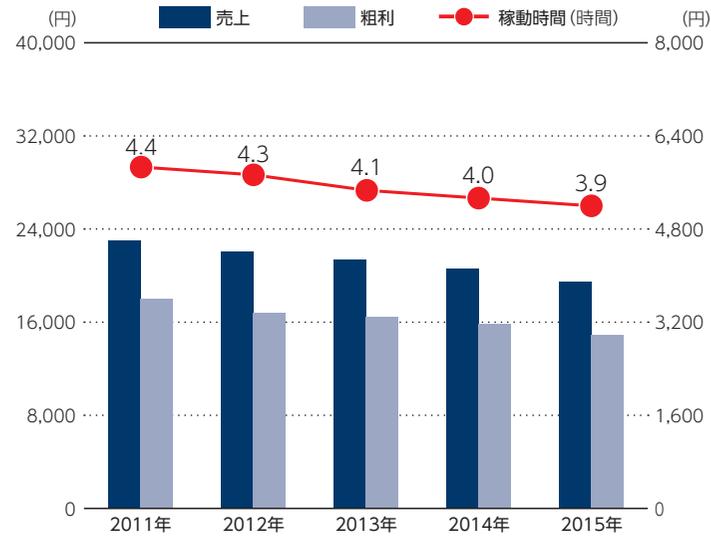
11

「DK-SIS白書2015」ダイジェスト

Point

パチンコ、パチスロともに業績の下落傾向が続く

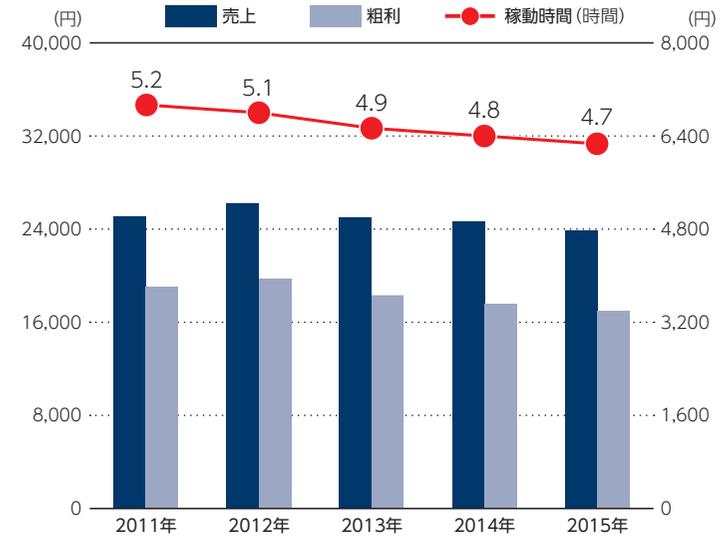
「DK-SIS」パチンコ動向の推移 (パチンコ遊技機1台当たり)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	対前年比
稼働時間	4.4	4.3	4.1	4.0	3.9	△4.0%
売上	23,048	22,065	21,416	20,613	19,497	△5.4%
粗利	3,608	3,364	3,266	3,165	2,988	△5.6%
時間売上	5,170	5,110	5,140	5,100	5,000	△5.4%
時間粗利	810	780	780	780	760	△5.6%
台数シェア	68.3%	66.1%	65.1%	63.9%	63.5%	△0.4%

2015年のパチンコ遊技機1台当たりの業績は、2014年と比較して稼働時間・粗利ともに若干ながら下落しました。過去5年間の推移を見ても下落傾向に歯止めがかからず、この5年で稼働時間は約15%、粗利に至っては約20%の大幅下落となっています。

「DK-SIS」パチスロ動向の推移 (パチスロ遊技機1台当たり)



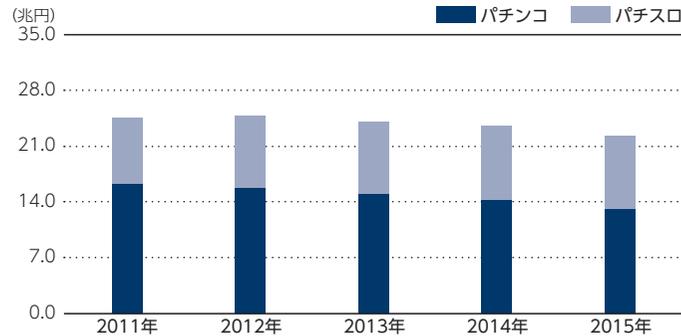
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	対前年比
稼働時間	5.2	5.1	4.9	4.8	4.7	△2.9%
売上	25,123	26,122	25,028	24,694	23,839	△3.5%
粗利	3,809	3,951	3,665	3,515	3,396	△3.4%
時間売上	4,770	5,050	5,110	5,080	5,070	△3.5%
時間粗利	720	760	750	720	720	△3.4%
台数シェア	31.7%	33.9%	34.9%	36.1%	36.5%	0.4%

2015年のパチスロ遊技機1台当たりの業績は、2014年と比較して稼働時間・粗利ともに若干ながら下落しました。過去5年の推移で見ると、稼働時間は2011年、粗利も2012年をピークに下落傾向へと転じており、パチンコと同様厳しい状況となっています。



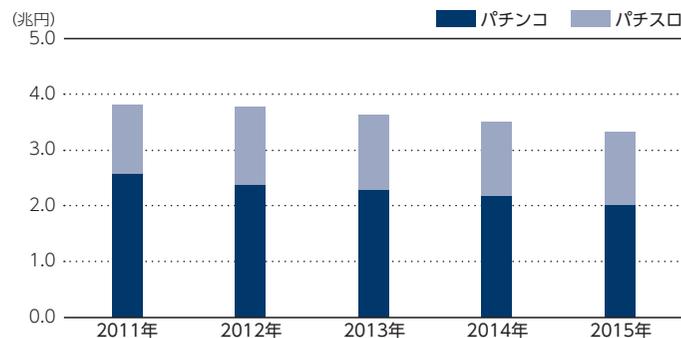
パチスロの市場規模は横這いに留まるものの、 業界総粗利規模は下落傾向が続く

「DK-SIS」の推測する市場売上規模の推移



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	対前年比
パチンコ	16.4	15.7	15.0	14.2	13.2	△7.1%
パチスロ	8.2	9.1	9.1	9.3	9.1	△1.5%
売上合計	24.6	24.8	24.1	23.5	22.3	△4.8%

「DK-SIS」の推測する市場粗利規模の推移



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	対前年比
パチンコ	2.58	2.40	2.29	2.18	2.02	△7.5%
パチスロ	1.24	1.38	1.34	1.32	1.30	△1.3%
粗利合計	3.82	3.78	3.63	3.50	3.32	△5.1%

業界の市場規模はDK-SISの実データからの推測で、売上規模は約22.3兆円、粗利規模は約3.32兆円となりました。DK-SISで業界の状況を表す最も重要な指標と考えている粗利規模は年5%程度下落が続いており、市場を取巻く環境は年を追うごとに厳しくなっているといえます。

パチンコ・パチスロ別で見ると、パチンコの業界総売上・総粗利ともに下落幅が大きくなっていますが、パチスロは横這いに留まっています。

●今後の業界動向推測

業界全体の市場規模は、緩やかながら下落傾向が続いています。パチンコ・パチスロ別で見ても、パチンコは長期にわたって続いている低迷状態から未だ抜け出せておらず、パチスロも市場規模を見る限りではなんとか踏み留まっているものの、2015年から登場している、いわゆる「新基準機」の業績が伸び悩んでおり、予断を許さない状況となっています。

今後も、パチンコではマックスタイプの遊技機が市場から優先的に撤去される流れと、新機種における高ベース仕様や継続率の抑制によって売上性能の更なる低下は避けられません。さらには釘問題の解決に向けた遊技機の撤去問題も控えています。パチスロにおいても段階的に出玉性能の抑制に向かう動きが進んでいくものと思われる。総合的に判断して、2016年以降に状況が劇的に改善するということは考えにくく、厳しい状況が続くと想定されます。

ただ、現状においても条件次第ではあるものの、新規・改装による成功事例が少なくないことや、過去の推移・事例から、不況下でも当業界が比較的底堅く推移していることを踏まえると、波はあるものの長期的に業績が落ち続けるとは限らないと考えます。さまざまな問題が一段落することで底を打ち、業界総粗利は減少傾向から横這いへと推移するのではないかと考えられます。さらに、東京オリンピックが開催される2020年に向けた公共事業の増加や、その他の景気対策次第では、業績が横這いから緩やかな上昇に転じることも期待されます。

しかしながら、上記でも述べたとおり今後登場する機種は出玉性能に制限が加わるため、従来のような出玉性能に頼った営業を続けることは難しくなります。今後は出玉性能のみに頼る営業から脱却し、限られた枠内でいかに業績を上げる進化を遂げられるかが問われるのではないのでしょうか。

ファンを最優先で考えつつ、この淘汰の波に飲み込まれないためにはどのようなことができるのか、当社の「DK-SIS」はこのために努力を惜しまず提案を続けていきますので、今後ともご支援の程よろしく願いいたします。

13

会社及び株式の状況

(2016年3月31日現在)

会社概要

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.

創業 1965年 9月

設立 1973年 7月

資本金 6億7千4百万円
(発行済株式総数14,783,900株)

本社 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

従業員数 (単独)462名 (連結)641名

事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売

決算期 3月31日

事業所 4事業所、4支店、13営業所

連結子会社 元気株式会社、DAXEL株式会社、ダイコク産業株式会社、アロフト株式会社

役員 (2016年6月28日)

代表取締役会長	栢 森 雅 勝
代表取締役社長	栢 森 秀 行
代表取締役専務	栢 森 健
常務取締役	根 本 弘
取締役	大 上 誠 一郎
取締役	栢 森 啓
取締役	武 田 邦 彦
取締役	足 立 芳 寛
常勤監査役	伊 東 幹 夫
監査役	村 橋 泰 志
監査役	田 島 和 憲
監査役	知 念 良 博

(注) 1. 取締役 武田邦彦氏、足立芳寛氏は社外取締役であります。
2. 監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏、知念良博氏は社外監査役であります。

株式の状況

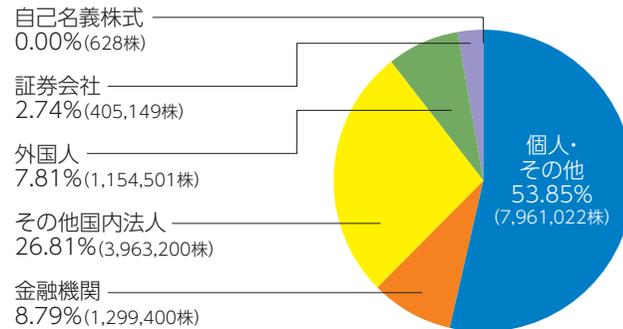
発行可能株式総数 66,747,000 株

発行済株式総数 14,783,900 株

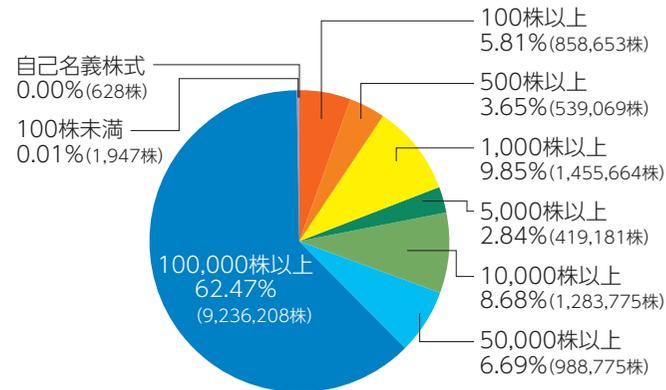
株主数 8,310 名

株式分布状況

所有者別



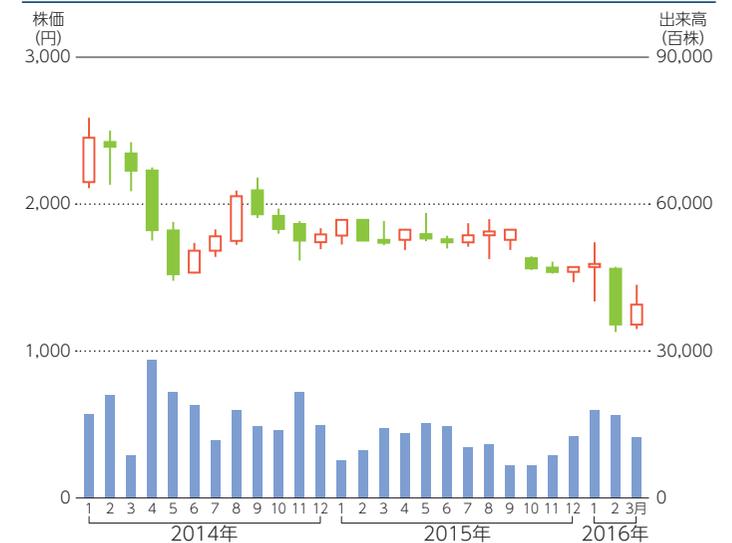
所有株数別



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
栢森 健	1,772,200	11.98
栢森 雅勝	1,045,650	7.07
栢森 秀行	961,000	6.50
栢森 美智子	926,000	6.26
栢森 寿恵	887,000	6.00
栢森 和代	766,000	5.18
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森 新治	443,450	2.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	334,800	2.26
みずほ証券株式会社	280,900	1.90

株価及び出来高の推移



■ 電子メールによる当社IR情報の配信

当社は、投資家の皆さまへ電子メールによる IR 情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた皆さまには当社ホームページ (<http://www.daikoku.co.jp>) に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。IR 情報配信サービスをご希望の方は、当社ホームページにアクセスした後、「IR メール配信」ボタンから、簡単にご登録いただけます (無料)。

www.daikoku.co.jp/ir

ダイコク電機 IR

検索



IRメール配信



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日	郵便物送付先	〒168-0063
定時株主総会	6月下旬	電話照会先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告いたします。	公告方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
一単元の株式数	100株	公告のホームページアドレス	http://www.daikoku.co.jp
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		

配当金受取方法等について

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

* 確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

株主さまのご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施にともない、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構 (ほふり) が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となりました。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問い合わせください。



株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主さまの増加をはかることを目的とし、株主優待制度を2015年9月末の株主さまより導入いたしました。

株主優待制度の概要

保有株式数と保有期間に応じて 商品と交換できるポイントを贈呈

対象株主さま	保有株式数	初年度	2年以上保有※
9月末現在 100株以上 保有の株主さま	100～299株	3,000ポイント	3,300ポイント
	300～499株	6,000ポイント	6,600ポイント
	500～699株	12,000ポイント	13,200ポイント
	700～999株	15,000ポイント	16,500ポイント
	1,000株以上	20,000ポイント	22,000ポイント

※2年以上保有：9月末日の株主名簿に同一株主番号で2回以上記載されること

配送先が選べて
家族に優待商品を
プレゼントできる

保有ポイント内で
いくつでも商品
に交換できる

※
約400種類の
優待商品から交換可能！

2年以上保有で
ポイント+10%

ポイントが
貯められる！
(最大2年間有効)

※株主限定ウェブサイトに登録された方が
選んでいただけた種類の数。
電話受付の場合は15種類。
(それぞれ前年実績)

株主優待制度について

毎年9月末現在の株主名簿に記載又は記録された、当社株式1単元(100株)以上を保有する株主さまを対象に保有株式数と保有期間に応じたポイントを贈呈いたします。優待商品との交換のお申込みには、当社株主さま限定の特設ウェブサイトにてお申込み並びにご登録していただく必要があります。

ポイントは株主さま限定の特設ウェブサイトにおいて、食品、電化製品、当社オリジナルグッズなどに交換できます。

対象となる株主さまには、10月下旬～11月上旬に特設ウェブサイト登録方法や保有ポイントなどを記載したご案内をお送りする予定です。

ダイコク電機 プレミアム優待倶楽部 前年ポイント交換を実施した商品例

3,000ポイント

今治純白タオルセット



ウェスティン都ホテル京都
アイスクリーム(110ml×7個)



6,000ポイント

新潟魚沼産こしひかり5kg



千葉県産房総ポークC
コースステーキ(約100g×5枚)



12,000ポイント

北海道産ゆめぴりか12kg

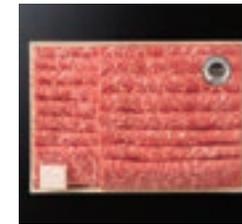


Canon デジタルカメラ
IXY150 (シルバー)

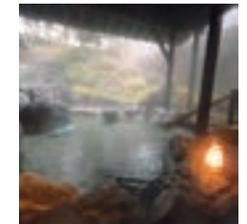


15,000ポイント

神戸牛すき焼き (300g)



草津ナウリゾート日帰り
入浴&夕食(お土産付)2名様



20,000ポイント

松阪牛サーロイン
ステーキ3枚(510g)



水明館(下呂)
日帰り温泉+ランチ4名様



社会貢献活動への寄付

- 日本赤十字社
- 認定 NPO 法人カタリバ

※写真はイメージです。※優待商品は変更になる場合があります。